

生活福祉委員会 送付 24-3

町会補助金問題の事実経過と責任の所在を明らかにすることを求める陳情

受付年月日 平成24年4月19日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

いつも私たち区民のためにご尽力くださいます、ありがとうございます。

さて、区役所から町会に支出された補助金45万円が一部の町会役員によって着服されたのではないかということが区議会で問題になっているようです。

区役所が東神田町会に対して行った事業の補助金が過去3年にわたって、町会役員に着服されていた。また、現職の区議会議員が着服に協力していたのではないかという話は千代田区の中でも大きな話題になっています。

これは、現在の千代田区では、地元住民の数より、移転してきた住民の数の方が多くなりつつあるのに、新住民を軽視し、行政や地域活動をいまだに町会組織に依存し、偏重する体質に起因するのではないのでしょうか？このことは区政功労者表彰において、町会役員が多くを占めていることから明らかだと思います。

町会への補助金が町会役員名によって着服されていた。そこに区議会議員が関与していたということがもし、事実であるとすればこれは私たち一般区民からすると許しがたい事実であり、区議会にはこの問題を解明する責任があると思います。

そこで、私は千代田区民として小林議長に対して区民の代表である議会として、この問題の事実経過と責任の所在を明らかにしてくださるよう陳情いたします。

平成24年4月13日

千代田区議会議長 小林やすお 殿